

第6回 羽島郡二町教育委員会定例会議記録

第33号議案 平成30年度使用小・中学校用教科用図書の採択について

1 平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」の教科用図書について

- (1) 教育委員一人一人の机上に全ての発行者の見本本を準備して説明を行った。

(2) 学校教育課長より、平成29年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の選定結果について、5つの調査項目に基づき、全ての教科用図書（以下「教科書」という）について、良さに絞って説明があった。また、生命の尊重やいじめに関する取り扱いについても説明をした。更に、よさが多く見られる2社に絞って丁寧な説明があり、その後に協議した。

(3) 意見や質問

 - ① 使用上の便宜についてはA社のみがとても優れているという評価をされたが、具体的にはどういうことが。
 - ② B社のキャラクター「こころん」が吹き出で、どの資料にも「どんな・・・」という質問が一つあるが、授業を進める先生は使いづらくないか。
 - ③ 使う先生の立場に立ったとき使いやすい教科書はどちらか。
 - ④ A社の教科書は多くの漢字にルビがふってあることはどう判断したらよいか。
 - ⑤ 教科書のサイズに違いがあるがどうか。
 - ⑥ 教科書にノートが挟まれているのはどう扱うのか。
 - ⑦ A社には特に低学年に「自分の仕事をしっかりと」とか「がんばってはたらく」など実践について教えている。資料にもとづいて話し合いは行われるが、価値を教えることが日常でも少ない。

(4) 議決

意見や質問ののち、岐阜地区採択協議会の選定結果と同様の「光村図書」の「道徳
きみが いちばん ひかるとき」を採択することを議決した。

2 平成30年度使用小学校教科用図書の採択について

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、並びに同法施行令第15条の定めるところにより学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、平成28年度において使用している教科用図書と同一の教科用図書を採択することを議決した。

3 平成30年度使用中学校教科用図書の採択について

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、並びに同法施行令第15条の定めるところにより学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、平成28年度において使用している教科用図書と同一の教科用図書を採択することを議決した。

平成30年度使用小学校用教科用図書岐阜地区
採択を受けた羽島郡二町教育委員会の議決

教科	種目名	発行者	書名
国語	国語	光村図書	国語
	書写	光村図書	書写
社会	社会	東京書籍	新編 新しい社会
	地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数	算数	大日本図書	新版 たのしい算数
理科	理科	東京書籍	新編 新しい理科
生活	生活	東京書籍	新編 新しい生活
音楽	音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	図画工作	日本文教出版	図画工作
家庭	家庭	開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科
保健	保健	東京書籍	新編 新しい保健

平成30年度使用中学校用教科用図書岐阜地区
採択を受けた羽島郡二町教育委員会の議決

■中学校

教科	種目名	発行者	書名
国語	国語	光村図書	国語 1 2 3
	書写	東京書籍	新しい書写1年用 2・3年用
社会	地理	東京書籍	新しい 地理
	歴史	東京書籍	新しい 歴史
	公民	東京書籍	新しい 公民
	地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	数学	大日本図書	数学の世界 1年 2年 3年
理科	理科	東京書籍	新しい科学 1年 2年 3年
音楽	一般	教育芸術社	中学生の音楽 1 2・3上下
	器楽	教育芸術社	中学生の器楽
美術	美術	日本文教出版	美術 1 2・3上下
保健体育	保健体育	学研教育みらい	中学保健体育
技術	技術	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野
	家庭	東京書籍	新しい技術・家庭 家庭分野
外国語	英語	三省堂	NEW CROWN
			ENGLISH SERIE S 1 2 3

平成30年度使用小学校用「特別の教科 道徳」教科用図書
岐阜地区採択を受けた羽島郡二町教育委員会の議決

■小学校

教科	種目名	発行者	書名
道徳	道徳	光村図書	道徳 きみが いちばん ひかるとき

平成30年度使用小学校用「特別の教科 道徳」教科用図書
の羽島郡二町教育委員会の選定理由

■小学校

教科	種目名	発行者	選定理由
道徳	道徳	光村図書	<ul style="list-style-type: none">・学年段階に応じた重要指導内容や指導時期を配慮した教材配列、教材の充実、言語活動の種類や分量、主題やねらいに応じた多様な指導方法など、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成が図られるよう十分配慮されている。・コラムを設け、複数の教材からいじめや情報モラル、共生など現代的な課題に関わったり、家庭や地域に働きかけることで道徳的実践の日常化につなげ、児童が主体的に取り組み、それが一人一人の個性になるように十分配慮されている。・「つなげよう」において、教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図る更生がなされている。巻末にある一覧や学びの記録など、使用上の便宜が十分配慮されている。